

和邇小学校 学校運営協議会：子どもたちの「いま」と「未来への願い」

1学期の各学年の様子と、地域委員が考える「目指すべき子ども像」を共有し、学校・家庭・地域の連携を深める。

★ Context：和邇小学校で開催された第2回学校運営協議会の記録です。担任教諭による全学年の現状報告と、地域委員による「地域でどのような子どもを育てたいか」という熱心な議論の内容を抽出しました。



1学期：各学年・学級の「いま」の姿



低学年：素直な成長と
集団生活の基盤



1・2年生は笑顔で元気に登校し、
粘り強く学習に取り組む姿勢や
ルールの習得が進んでいます。

？ 中学年：好奇心と
他者とのつながり



3・4年生は地域学習や新教科に
意欲的で、友達との協働を好む一
方で、聞く姿勢の定着が課題です。

⊗ 聞く姿勢の課題

高学年・お花：自立と
自己決定へのステップ



責任感が高まる時期。周囲に流さ
されず、自分で正しく判断し決定す
る力の育成に注力しています。

学年別：特徴と課題

学年区分	特徴（強み）	今後の課題・重点
低学年（1-2）	素直、粘り強い	基本的生活習慣の定着、
中学年（3-4）	好奇心旺盛、書く力	整理整頓、日常の基本ルール遵守
高学年（5-6）	責任感、男女仲が良い	自己決定力、情報の取捨選択、中一ギャップ対策



委員が語る「地域でめざす子ども像」



「AI時代だからこそ、
人間力と心のつながりを」



正しい情報の判断力（メディアリテラシー）と、
自分の思いを適切に伝える会話力を重視。



「直接体験」が確かな学びと郷土愛を作る



自然体験や地域行事を通じ、
五感を使って学ぶことで、
和邇への愛着と生きる力を育む



「助けて」と言える力と、
それを見守る地域

困難から逃げない強さと同時に、
困った時に周囲を頼れる力、
それを支える地域の目。

